

## 第一部 青春の遍歴

- 一 ルクリュ家にて 17
- 二 利根川 26
- 三 生家 36
- 四 幼少のころ 45
- 五 青年期 59
- 六 生涯の転機 69
- 七 萬朝報に入る 77
- 八 悩みはつづく 91
- 九 週刊『平民新聞』 99
- 十 日本最初のメーデー 113
- 十一 幸徳、西川の出獄 127
- 十二 『新紀元』の運動 137
- 十三 『新紀元』運動の発足 137
- 1 田中正造翁 145
- 2 木下尚江 168
- 3

- 十四 日刊『平民新聞』 176
- 十五 入獄 189
- 十六 出獄—革命歌—再度の入獄 206
- 十七 大逆事件 218
- 十八 1 家宅搜索・引致 218
- 十九 2 執行 225
- 二十 幸徳秋水 235
- 二十一 生活態度の問題 251
- 二十二 諸友の回顧 257
- 二十三 福田英子 264
- 二十四 横浜生活 274
- 二十五 暇乞 280
- 二十六 船出 284

## 第二部 一自由人の旅

- 一 ポール・ルカ号の旅 289
- 二 ポール・ルカ号の旅(つづき)

三	ブリュッセルに着く	306
四	新思想の新陣營	312
1	平民館	312
2	自由擁護の新大学	319
五	ロンドン素通りの記	328
六	社会党非戦大会	337
七	ジャン・ジョレスを想う	344
八	島崎藤村	358
九	仏兵戦話	362
十	ドム町にて	369
1	葡萄の祝	370
2	ミルボオ	374
3	戦争第五年	378
4	町の革命	381
5	平和の鐘	386
十一	美神礼讃	390
十二	カーペンター翁最後の訪問	398
十三	日本印象記	403

十四	大正末期の社会情勢	413
十五	再度の渡欧	421
十六	土民生活 <small>デモクラシー</small>	427
十七	農民自治会	437
十八	江湾の労働大学	446
十九	共学社と『ディナミック』	451
二十	四つの記念号	466
二十一	三度目の渡欧計画	483
二十二	中国の第一印象	491
二十三	北京文化の素描	500
二十四	泰山に登りて	511
二十五	東洋史研究への発足	520
二十六	研究生活	527
二十七	戦後の運動	544
二十八	第二次世界大戦と太平洋文化時代	560